石桜新聞

発行所　盛岡市仁王田圃　岩手高等学校　岩手中学校
出版委員会新聞部
責任者　小山常光
印刷所　岩手日報社

本年度石桜会役員決る

会長に作山君選出
生徒会の発展を誓い

新緑と共に、本年度の石桜会新役員改選の時期が訪れ、去る四月十日の選挙により新役員が選出された。続いて四月十七日の認証式に於いて、全校生徒参加のもとに新役員が誕生した。生徒会の充実をめざす本年度、各委員会の指揮を取るべき人々であり近年不活発な生徒会に新鮮な空気を吹き込むことが期待される。

菅原君

横坂君

渡辺君

三田地君

作山君

穀蔵君

小山君

総務委員会
▽会長＝作山竜子、▽副会長＝菅原国嘉、川村伯光、小田一成、▽書記＝小笠原洋光、角掛哲也、植本勝明、照井康夫、▽会計＝阿部晴典、里見一栄、三納有次、小田島隆、▽委員＝佐々木基一、小笠原久夫、佐々木重雄、小原孝比等、吉田恒夫、高橋宏輔、遠藤健悦、北田勝寛、田村忠光、猪去勉、佐々木武司、村上哲洋、中村洋彦、鈴木邦彦、佐藤観悦、及川茂美、似内裕、佐々木健司、渡辺洋一

生活委員会
▽委員長＝植坂克衛▽副委員長＝小林良雄、清田秀夫、阿部忠、大平武征

文化委員会
▽委員長＝副委員長＝菅原国嘉、▽演劇＝千葉明彦、川村一次、▽映画＝赤井淳一、▽弁論＝植田英司、藤根一彦、▽写真＝八重樫欣栄、▽書道＝菅原国嘉、小笠原英幸、▽絵画＝日野杉和夫、高原光男、▽英語会話＝菅原国嘉、▽物理＝柚林良樹、東本幸男、▽化学＝佐々木基一、▽生物＝細川正、新藤雅之、▽地学＝熊田快郎、▽音楽＝横矢裕、▽郵便友の会＝田村隆一、高山力美佐男、佐々木初男、高橋保夫、小平忠孝

学習委員会
▽委員長＝三田地秀衛、▽副委員長＝八重樫欣栄、高橋征利、▽委員＝藤巻芳夫、南沢満雄、鈴木武勝、瀬川武、葛原公治、村上忠樹、佐藤勝彦、加屋収、四戸正昭、川原輔、遠藤敦穂、細川市男

出版委員会
▽委員長＝小山常光、▽副委員長＝鎌葉夫、日野沢明男、▽委員＝北田等、及川清吾、菅原紀繁、熊谷純克、吉田英男、川口喜之、村井健三郎、畠山泰彦、花館和裕、北館賢一、小笠原善勝、米倉公一

図書委員会
▽委員長＝渡辺敬、▽副委員長＝猪去博、藤倉喜久治、▽委員＝千田勝昌、熊谷弘美、沼田英雄、吉田博之、高橋昭男、安西信夫、長谷川哲昌、川村正司、小枝指実、小林良雄、清田秀夫、阿部忠、大平武征

学校行事予定

▽6月16日　前期中間考査開始
▽7月2日　A・T（高一・二）
▽7月11日　模擬試験
▽7月21日　夏休み始まる
▽8月21日　始業式
▽8月29日　A・T（高一・二）

再び佐藤氏に
PTA役員決る

昭和三十三年度、P・T・A新役員はさる二月二十一日の総会において選ばれ、会長に佐藤氏が満場一致で再度選出された。新役員は次の諸氏。

会長　佐藤朗氏
副会長　作山喜久男氏
工藤久吉氏
小田島巍事氏
斎藤権一郎氏
なお監査委員の給越金五郎氏は御永眠されたため、おって後の会合に後任を選出する。

◎学校側役員
理事＝景山雅男先生、西在家寛先生、村上照五郎先生、柴内興宗先生、小笠原哲治先生、鈴木勝吾先生、吉田長作先生、西在家寛先生、柴内興宗先生、指導＝日野臣浩先生、伊藤明逸先生、鈴木健郎先生
書記＝菊地忠六先生、池口杜孝先生、鈴木信雄先生

応援団幹部決る
団長は横坂克衛君

鋭意選考中であった応援団幹部は、四月月旬、高三、高二各クラス選挙により決定を見、四月十七日石桜会役員と一諸に認証された。席上、山中校長より応援について御挨拶があり、団員一同、『団結』『規律』『Fight』の三つを目標に新たな決意と発足した。尚團間には戸鳴、日野臣、足沢、照井、鈴木（健）の諸先生が当られることになった。

▽団長＝横坂克衛、▽副団長＝菅原国嘉、佐々木昭雪、▽幹事＝小野寺隆雄、佐山盛雄、佐藤喬、穀蔵武、高橋正弓、中村卓郎、古川雅男、北館宏、鯖山義昭、藤沢喜蔵、坂東守、角掛哲也

教員異動

会計＝佐羽内慶祐先生

◇離任
淵沢　行雄（国語担当）自宅
川合るみ子（国語担当）

◇新任
古川　進（国語担当）
三十三年三月―東京教育大学独文科
菅野　照雄（国語担当）
三十三年三月―東北大学文学部卒

奨学金授与

後期奨学金授与者は、三十二年度後期奨学金授与者を決定し、去る四月九日本校講堂に於いて授与した。尚審議の経過は次のとおりである。尚高三の佐藤君、中三の里見君は卒業式の際授与された。

高三A　佐藤哲郎、
高二A　作山竜子
高一A　川村伯光
中三甲　里見一栄
中二丙　植本勝朗

ラッパさん永眠さる

ラッパさんの名で全生徒から愛され、親しまれて来た本校使丁の高橋清一さんは三月も半ばの十八日突如自宅で脳出血のために亡くなられた。行年五十四歳。また告別式は三月二十一日午後一時から自宅において行われ、学校からも校長先生、職員、近隣の生徒が出席。故人の冥福を祈った。高橋さんは昭和六年八月、喇叭手として採用され、後、足かけ二十七年間本校使丁として勤続され本校の歴史と共に忘れられた人であった。本校としても高橋さんが去った事は誠に淋しさの限である。

いつも明るく、ほがらかで、健康であった高橋さんがぽっくりと…またその後任には御子息の二郎さんが当られ、父子二代にわたって学校のため御尽力下さることとなった。

校外短信

▽人工衛星時代
アメリカのある高校の先生が成績の下がった生徒を呼び出して
先生「君、また低下したね、これで二度目じゃないですか」
生徒「でも一回ではなかか上げられないもんで。」

▽親孝行
『君のお父さんの自慢はずいぶん立派だね。』
『うん、あれはみんな僕のおかげなんだぜ』

▽それは名案
先生「この頃ひどく難問が多い。これを減することにする。どんな解がいいだろう」
生徒『早退を減す』というのはどうでしょう。』

▽教科書とは
先生「学問は学生にとって恋愛と同じである。教科書に向ったら恋人に対したようになり給えよ。」
生徒「この前の試験で零点を取ってしまいました。」
先生「それでは振られたのだな。』

▽虎のミス
某高校の数学の時間、B君は先生に当てられた。そしてさっそうとして黒板に書いて見たものの、その答は大間違い。
先生曰く、『その間違いは君の間違いではない即ちトラの間違いだ』といった。即ち先生もトラの愛好者だとは……。

▽迷宮説
広島県某高校で、役員改選の時に徒会々長に立候補した某君の演説は、
『諸君――前略――中略――後略、頼む』この大将果して当選したかどうか？

▽試験に関する名言集
埼玉県の某高校のA君は彼の経験したことより次のようなものを作り上げた。
○世の中に絶えて試験のなかりせば生徒の心はのどかならましに
○にくきもの――秀才の答案を雪ぎ終りて外なるうち眺めたる。
○かたはら痛きもの――前なるもののあきらめてつめ切る音したるは。

× × ×

▽みなり三態
○眼鏡は勉強したふり
○カバンは弁当カバー
○帽子はトラ刈りをかくすもの

▽勉学四季
春……春眠不覚暁
夏……あまねに暑い
秋……スポーツに好適
冬……寒過ぎる

▽運命
昼休みの時間クラシックが教室を流れているA「どうだったアノ」との質問に、A「どうも賜やかでないとね」Bは「ホーやっていたのか」聞てはA「うるさくて昼寝のじゃまになった」とは……「運命」は開かない「運命」なのか。

▽抵抗派
サボルのに参加せぬ者を、人はレジスタンス派という。

断言

×××××××
×××××××
×××××××

御好評の
プラチナ・オネスト
をどうぞ
中屋万年筆店
盛岡市大通り
TEL 4762

彫刻サービス致します

帽子専門の店
帽子・襟章・各種取揃え
お待ち致しております。
三栄帽子店
盛岡市仁王通り
TEL 5342

古書籍と雑誌
売りよく買いやすい
東光社書店
盛岡市紙町（上の橋ギワ）

書きよい万年筆
パイロット
スーパー
学生の店
木津屋文具店
盛岡市材木町
デンワ 二二四〇

論説
授業態度について

現在の教育界を見ると、社会の一つの大きな話題となっているのに、造教育の問題がある。文部省が、今改めてこの問題を強調しだしたその真意は何んであろうか。以前に比して現世の青少年は無軌道で、非行に陥りやすいとの見解からこうした対策が講ぜられたのであろうか。

このような問題にかんがみ、本校における生徒の授業態度について反省して見たいと思う。授業態度において、本校生徒の最も欠点とするところは、教師によって生徒のとる態度が違うという事である。或る教師の授業に於いては真面目に受けるが、ある別の教師の時は、奇声を発したり、又やたらに無要の書きをしたり、果ては騒がしくするというような事を平気でやってのけるというような事である。

こうみると、本校生徒の中にはいわゆる表と裏の二面を持った生徒があるのではないか。実社会に於いても、この二重人格的な表と裏を持った人間が一番嫌われる。よく世間にあるが、あたかもいつも善行をなしているかのように、人前では自分を見せびらかし人のいない所では自己勝手な悪をする。このような劣な態度が、本校生徒の間にも発生えているのではないか。

しかしは、我々は以上の問題をどう解決していくべきか。まず原因からつきつめて行くと、授業に於いて態度が不真面目なところがあるのは、結局生徒自体の学問に対する情熱と意欲が足りないことにあると思う。例として、高三と高二以下を比べた場合明瞭に解ることである。

なぜ高三は授業態度が真剣なのかというと、これは受験を来春に控え、大学の門を突破せんとする意欲に燃えているからであろうと思われる。

我々がもう少し将来のこと、学問のことを深く考えるならば、いい加減に授業を受けたり、妨害するような態度は生れてこないものと思う。

さて、教師によって態度が違うということであるが、本校の場合は中学校から引き続き同校舎で過ごし、同じ教師達から指導を受けているために、高校生になる頃はすっかり学校の雰囲気に慣れてしまうこれが生徒の態度感をゆるめ、横着な考えを起さ、特種な好奇心も手つだったりして、こうした下劣な態度が生れてきたのではなかろうか。

あまり好感が持てない教師とか、嫌いな学科を受け持つ教師に対してこうした態度が見られるようであるが、これ等の問題を解消するには、個々に於いて十分反省し、他人に迷惑にならない行動は避くべきであることは勿論のこと、やはり同時にクラス自体の反省が必要である。クラスの中に一人でも態度の思わしくない者がおれば授業の雰囲気を攪乱し、進度を遅らせる結果となる。クラス自体が各自に自覚を求め、傍若無人な態度をとったりする者の存在を許さないようにしなければならない。

結びとして言うが、学校は修業の場であり、その教師の指導を受けても、授業は厳粛な態度で受くべきである。（だから言って石像のようにかたくなって緊張ばかりしていよ、というのではない）我々は健全な学園生活を築くために、今こその点についての重大な反省期ではなかろうか。

（Y）

新入生に聞く——
＝岩高よいとこ悪いとこ＝

本校はさる三月一日に市内のトップを飾って百三十八名の生徒を送った。なんとなく校内の空気が淋しいのに感じられたが、さる四月二日各の中学生と、四十七名の高校生が入学し、新鮮な空気を校内にもたらした。高校の公募は本校第二回目の試みとして行われたが、この新入生に期待するところは大きいものがある。この程幾多の難関を突破して、晴れて岩高生となり思いを新たにした新入生諸君に、本校に対する感想を綴っていただいた。

学校生活を有意義に

佐藤和彌

四月八日、私は憧れある岩手高校に入学を許可され、ここに合格の喜びに胸をおどらせました。しかし私は喜びにばかり浸ってはいられない。高校の授業は中学の授業と違うのである。もはや私は高校生なのである。私は私の目的に向って高校三年間を有意義に過し学業に励み、また運動・文化活動に若い力を発散し、くいのない高校生活を送る覚悟である。

岩高生になった感想とか抱負を書いてくれと新聞部から頼まれたのだが、岩高生になってからまだ日が浅く、急に言われて困ったが第一感を率直に述べてみたい。まず男女共学でないことである。過去九年間ずっと男女共学であったが、高校に入って男子だけの学校生活に入り、なにかしら居心地の悪さを感じて好感がもたれた。

応援歌練習も初めはオッカナかったが上級生が早く新入生に覚えさせようと必死になって指導してくれ、まるで兄貴といった感じだ。各クラブの勧誘にも自分のクラブを発展させようとする意欲が感じられ、私は自分の才能上から新聞部に入った。私はこの部を選んだことを喜んでいる。私は初めて新聞作りというと仕事に取り組んだ。大変むずかしいものだが、しかし上級生が親切に指導してくれ、よやくわかりかけてきた二三年も新聞部に入るつもりだが、石桜新聞をより良くかつ県でも有名な新聞にしたいと思います。又、スポーツでは、野球、ラグビー等が強く心強く思って居ます。水泳のほうも、立派なプールがあり、うんと泳いで健康な体をつくりたいと思うが、私は泳げないので、少し心ぼそい。其の他、立派な図書館もあり多くの本を読み、これによって少しでも自分を高めて行きたいと思います。入学当時の意気を忘れずに勉学に、クラブ活動に全力を尽したいと思います。

私もどうもどこの学校の空気にも慣れ長所も解りかけてきた。これからの三年間をくいのないものにするために又よりよい学園生活を築くために短長は皆で協力してとし上げて行きたいと思います。

そのために上級生の皆さんのよき御指導をお願い致します。

スピーディな掃除法

細川正則

新米でよくわかりませんが感じたままを書きます。

まず設備の充実しておること、たとえば図書館、プール等のりっぱなのが私達に非常な励みをあたえてくれる。ただそういう設備のわりに校舎内がやや古たいのは拍子ぬけである。勉強の方では英語のレベルが進んでいるのはわれわれにとっていささか安堵もあった。授業態度については感じないが三時間目の『べんとう』にはちょっとびっくりした。先生の『アタナ』もユーモアがあってなかなか良く考えたものだなあと思って、親近感があるように思われた。

掃除をするのはやはり男、中学校の時の想像以上にまことにスピーディにおこなわれている。まさか今日のスピード時代の流行に乗ったのでもあるまいが、それともスピード時代の先がけはこちらが本家かいずれにしても、いともっさりしてしまう。校舎がきたないのはとのスピードと幾分関係あるように思える。

クラブ活動では自分は卓球部に入って他部のことはあまり知らないが時に水泳部、体操部、ラグビー部、野球部の練習がめについた。岩手山もまだまだ白い残雪を見せまた寒いので、グラウンドの横にあるプールにはカッパ族がファイトを燃やし、寒さをものともしない練習しているのを見ることはいかにも若人の意気にあふれ楽もしい感じがする。

文化部の活動のほうは運動部のようにめだたないが、コツコツと活動に励んでいるように思われる今後も引き続き本校の発展のためにあらん限りの努力をしたいと思う。

友達もできてきたし、学校の雰囲気にもなれてきたので思う存分自分の力を発揮したいと思います。

そしてこれからの三年間を岩手高校生として、はじらいのない学校生活を送りたいと思います。

私達の努力は勿論のことですが、上級生の皆さんに、私達のいたらない点をどしどし指摘して下さるようお願い致します。

今年度の抱負

石桜会長　作山竜子

寄稿

抱負についての寄稿の依頼があったので、駄筆に終るかも知れないが、私の常に考えている石桜会のある方、その中の特に自主性の問題について、二、三の点を述べて見たいと思う。

本校学則の第一条には〝本校は岩手中学校の義務教育に続き、大学への進学課程として高等普通教育を施し、平和的、文化社会の形成者として、自主独立の気風の下理想と信念と実行力ある人物を養成することを目的とする〟とある。石桜会規約の第二条には〝本会は会員の親睦と健全なる自主活動の促進を計り、学校生活の経験を通じて将来ある良き公民となる素質を養う事を目的とする〟とある。

これによるといずれも、会員たる生徒の自主性という点を大きくとらえ、それによって信念と実行力を培かい将来良き公民たる素質をそなえさせることを、強調しているのである。しかるに現実はどうであろうか。年々石桜会の役員があり、私の常に考えている石桜会の抱負についてである。勿論全然自覚のない者はかりは限らないが、あまりにも行動はるされないという理念で、自主的に石桜会の行事に自ら協力性が生れて来るはずであり、従って学年末に役員をして計画の実行が出来なかった様な事はないのである。

本校の生徒の自主性に乏しいという事は一体何に原因するのであろうか。私は一つには、これは中高の一貫教育に原因するではないかと考える。というのは本校は高校生活を送りたいと思います。

他の高校の場合を見ると中学校より集まった者によって高一が組織されているのである。従って彼等は、已に中学三年時において一応上級生として生徒会の責任メンバーとしての習練を経て、自分自主性に徹しているのであるから高校生活に於ける校内行事に対する協力態度が自然と生れて来るのではないだろうか。

その点本校の場合中学三年という一応上級生としての経験を経ていないのであって、従って責任感にとぼしく自主性に覚めない生徒が多いわけである。

またクラブ活動の面においても、その面について集会を持ち、特に自主性の確立について反省を求め討議を要請しようと努力しているのである。

しかし心ある生徒会といえども、なかなか思うようにいかないのが現状である。

それに対して私はどう答えたい会長および委員長が選ばれた責任において、また学校の名誉のためにあるいは共同体に於ける個々（クラブ活動）の自主性の確立について何に情熱を傾けて活動しようと努力しても、会員たる生徒諸君の協力のない処に成績の向上はあり得ないのであって、生徒の自主性にとぼしい事を立証するものであるのである。

生徒は岩手高校という共同体の一員であって、石桜会の行事に協力するかしないかは全く生徒の行動はるされないという理念で、自主的に石桜会の行事に

第十回市民体育大会開かる

熱戦の三日間 技を競う

各種目に活躍 優勝三、準優勝三

みちのくの山々にも新緑の季節が訪れ、若葉と共にスポーツシーズンが来た。今回で丁度第十回目を迎えた市民体育祭は去る四月二十七、二十九日の二日間にわたり、約三千人の選手が参加して、十二種目にわたり熱戦が繰り広げられた。本校選手は冬季練習の結果を十二分に発揮して、学生らしいスポーツ精神を燃やし善戦。再度体操、卓球、中学柔道の各部が優勝した。

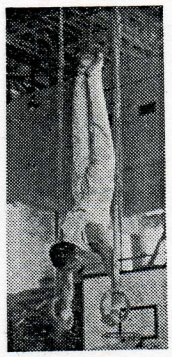
ズバ抜け妙技展開 再び栄冠に輝く

市民体育大会体操の部は、中先四月二十七日、高校四月二十九日盛岡体育館において行われた。本校からは高校は五日市はじめ十選手が参加全種目に妙技を展開し他校を二十点もひきはなしてゆうゆう二連勝をかざった。実力がそのままのをいう体操ではこの点差はよほどのことがなければなしえないものである。日頃からたゆまぬ練習を続けている本校で初めて出来る大偉業である。今後も練習をおこたらず高体連といはず東北大会でもぜひ初優勝してもらいたいものである。

ガンバレ！体操部

本校の成績は次の通り

▽徒手
❶岩手高　34・55
▽平行棒
❶岩手高　30・15
▽鉄棒
❶岩手高　29・40
▽吊環
❶岩手高　33・35
▽鞍馬
❶岩手高　32・25
▽跳馬


阿部選手の吊環

▽総合成績
❶岩手高　194・05　34・35
なおこの大会では個人戦はありませんでしたが成績から見ると本校の、五日市、阿部、戸塚、で一位二位、三位をしめている。

コンビ取れぬ前衛

盛岡一高に敗る

市民体育大会排球の部は四月二十六日、下小路グランドで市内男子六チームを集めて行われた。本校は初戦から二高と対戦、一セットは両チーム調子が出ず互角であったが後半はふるわず、一高に16点を得たのみであった。二セットはサーブが良く決り、逆に21―16と本校が破り三セットに持ち込んだ。三セットは7対7の均衡が破れてからはコートをとられ、気力なく21―17で相手に取られ破れた

盛岡2 ┐211―621―15┐ 1岩手
　　　└172―116―　┘

充実した籠球部

高校新人戦バスケットの部は、去る三月三十、三十一日の二日間盛岡体育館において、県下から新人二十校が参加して挙行され、チームワークが充実している本校は準決勝へと駒を進め強敵盛岡一高と対戦したが後半調子が乱れ10対20で敗退した。

成績は次の通り

○新人戦
一回戦

岩手26 ┐1214―8┐ 20花南(定)
　　　└12　　┘

岩手39 ┐1029―1713┐ 30岩谷堂
　　　└　　　　　┘

三回戦

又も盛工に敗れる

目立つF・Wの弱体

市民体育大会ラグビーの部は、去る四月二七、二九の日曜、祭日を利用して、上田黄金ラグビー場において、盛工高、盛一高、盛農高と本校の四校の間で華々しく開催された。

第一日目である廿七日は、薄曇りではあるがグラウンドコンデションは良好、第一試合盛一高と対戦し、本校のキックオフで開始された。今年初めての公式試合の為選手諸君も少々あがり気味だったのか、余り大量点を得る事は出来なく前半トライ、後半ワ組合終了間近になってウイング神谷のトライが決って計六点、尚、前後通じてゴールを決める事は出来なかった。

二九日の決勝戦は、宿敵盛工高と対戦した。この日は稀に見る晴天に恵まれ、選手諸君は優勝せんものと闘志に燃えていたこの試合も本校のキックオフで始められ、開始間もなく白軍、ゴール前でのオサイドがあり、ゴールを最も早く3点を許し、その後トライ2つ（何れもゴールなまる）を許し、計13点を与えてしまった。それに対して本校は終始気味で後半に入ったが後半は肉弾戦で闘志を燃やし、急に追ひすき、廿分頃になってスクラムトライに成功、それに気をよくしたキッカー殿蔵は見事ゴールを決め5点を獲得。その後、白軍10ヤード付近から敵のマークをはずしウィング殿蔵が独走、あわやトライ？と思われたが、敵軍25ヤードでタックルを受けてストップレッチ、惜しいチャンスを失った。又、後半にもオフサイドがあり、六点を許してしまった。オフサイドによって得点を与えたという事は、練習不足から来るものか？とにかくもっと今後の活躍を期待したい所。結果は次の通り。

▽第一試合
岩手高6 ┐3―0┐ 0盛一高
　　　　└3―0┘

▽決勝戦
盛一高19 ┐13―0┐ 5岩手高
　　　　└6―5　┘

岩手33 ┐1914―1212┐ 24宮古
準決勝　└　　　　　┘

岩手10 ┐6―4┐ 20盛岡一
　　　└8―12┘

盛一の前に屈す

劣るバック守備陣

姿球の部は、四月二十九日、一高グランドに市内三チームを集めリーグ戦によって激しく競われた。我校は、一高に次いで二位、盛岡は三位に止った。

第一試合は対盛岡戦で全選手、新人戦での雪辱を期して闘った甲斐あり、前半左腕佐々木の憶重なシュートに加えてバックの好守などもあり、6―3とリード。後半に入っても、例年の欠陥であった体の疲れも見られず、焦ってロングシュートを連発する盛岡を一

岩手9 ┐6―3┐ 6盛岡
　　　└3―3┘

練く第二戦は、盛岡との間に11対11の延長引き分け試合を演じた。盛岡一高。前半から本校不振、一高7、8、9の強力なフォワード陣に、本校守備陣は奔ろうされ、7対3とリードされた。後半に於ても度々の好機をものにすることが出来ず、結局16対6で一高の前に屈した。我校のチームは相当期待を持てる迄に成長したが、やはりリードされてからも焦らぬ攻撃法、チャンスでの慎重さ、パスワークの練習、バック守備陣強化の四点が、今後の課題である。

盛一15 ┐7―3┐ 6岩手
　　　└8―3┘

一高に惜敗

市民体育大会剣道の部は、四月二十七日武徳殿で行なわれた。本校からは中学一チーム、高校はABの二チームの計三チームが出場した。

中学
岩手中1―2下の橋A
高校第一戦
岩手高A1―2盛商A
岩手高B2―1盛商D
第二戦
岩手高B2―1盛一C
決勝
岩手高B0―3盛一A

中学は練習量の差があらわれ敗れた。高校A盛商と対戦、結果は2対1で破れたが良くたたかった。また高校Bは一回戦、二回戦とも先鋒、中堅とも勝ち、前半で勝敗をきめるためか大将が元気がなく、2対1で勝ち進み決勝で破れたが準優勝、まずまずの成績であった。全般的にはもうすこしファイトがほしい。

▽メンバー（次の通り）
先鋒　岩手A、岩手B、岩手中
中堅　久保田、玉川、根本
大将　吉田、西村、日沢
　　沢藤、寺沢、斎藤

複合に 細川 大塚組 優勝

団体は第三位

市民体育大会盛秩の部は、高体連盛岡予選を兼ねて五月十日盛岡体育館に於いて行なわれ、本校は日頃の熱心な練習の結果が現れ、ダブルスで、大塚・細川組が優勝した。また、団体、個人戦の大塚小田、ダブルスの大塚・細川の名組が高体連の出場権を得、活躍に期待される。主な成績は次の通り

団体の部
一回戦　岩手3―0平館高
二回戦　岩手1―3盛一高
三位決定戦　岩手3―0盛農高

個人の部
一回戦　大塚2―0杜陵
小田2―0橘
二回戦　大塚2―0盛農
小田2―0盛工
三回戦　大塚2―0橘
小田2―0盛一
四回戦　大塚2―0盛農
小田2―1盛農
準決勝　大塚0―2盛商

ダブルスの部
一回戦　大塚・細川2―0農定
二回戦　細川2―1盛一
三回戦　大塚・細川2―0盛農
決勝　大塚・細川2―1盛商

好成績の陸上

市民大会陸上競技の部は五月四日県営グランドにおいて行われたシーズン初めにもかかわらず、我が校選手は各起一番頑張り、堂々の好成績を収めた。

▽中学
四百米　藤○敏明　68秒
砲丸投　○○芳明　8米97
▽高校
走高跳　藤村英士　13秒1
二百米　菊地定義　25秒5
四百米　菊地定義　57
千五百米　○藤忍　4分27秒5
砲丸投　○○春男　5分5秒
走高跳　○○邦夫　1米58
砲丸投　○○芳夫　1米89
北田芳夫　10米58

日活 LiNE-up

凱旋興行
陽のあたる坂道
大阪娘と野郎ども

慾組
愛人三車
のい母
季笑
四お乳

出発
のつばさ
知の情
と愛
愛

11→17
18→24
25→1

東映スコープ幾多の映画賞に輝く名匠 関川秀雄監督が全情熱を込めて贈る異色超大作

季節風の彼方に

久我美子、高倉健、中原ひとみ、木村功、沢村貞子、小沢栄太郎

同時上映東映スコープ

警視庁物語

魔の伝言板

東映 盛岡

新作立型2本 大の敵画 無映

時間 同公 東大 堂々 10日 より

限りない皆様の御愛好を

戴く肴町の店

使いよい店

買いよい店

水原運動具店

TEL 三、〇二六

前売中 100円 110円

24日より大公開

青春物語

名匠マーク・ロブソン監督

青春六大スター出演

シネマスコープ・総天然色

同時・ジュリエッタ・マッシーナー 崖上映の話題を呼ぶ名作！

前売券 を御利用 下さいませ

国劇

第十回高体連の輝やかしき

戦果をお祝い申し上げます

スポーツの店

藤沢体育堂

材木町 モシモシ 二、四三一

思いで深き修学旅行

幾多の印象を留め

高二の修学旅行は四月十七日午後一時十五分、百二十四名の夢を託し、一路関東、関西へ旅立った。出発の際はあいにく小雨であったが、旅行中はあまり悪天候にならず思う存分に見学できた。さすがに若人だけあって、一人の落伍者もなく、全員快く数々の名所、旧跡を訪ね、四月二十四日無事帰郷した。

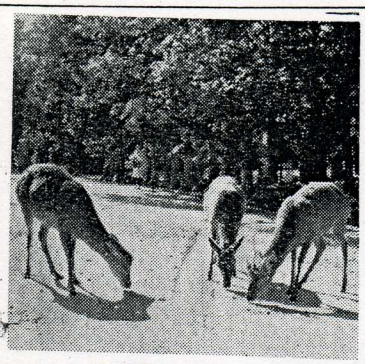
ここで高二の四君に『思いでのアルバム』を開いてもらい、幾多のエピソードを綴っていただいた。

範正田吉　2A　カット

小雨の中を旅立つ

吉田正次

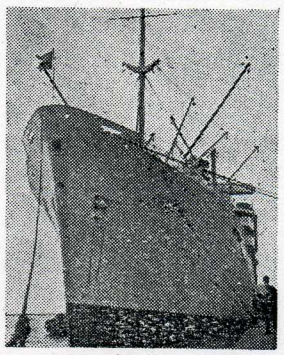
我等待望の修学旅行は、四月十七日小雨降る盛岡駅を十三時五十七分出発した。車内はにぎやかな雰囲気につつまれながら、平泉も通過したが、ここまで来ると雨も止み、からりと晴れた日の光が車内にはいさし込む。そうこうしている中に夕方になり、車内での夕食も久格別である。第一夜の車中泊となれば皆勤揃って寝られない。夜になると、車内ではおもしろさのあまり棚に上がって寝て見たり、スチームの通っている椅子の下に汗をかいて寝てみたり、ちょっと何かするとすぐ起き上がって「うるさえぞ」となってみ



奈良公園における鹿の群

し特に見る所もまもなく、駅前をうろつくものが大部分だった。名古屋発四時二十五分二見浦七時半頃。二見駅からは出迎への旅館番頭人に従って、並んで行進を続ける。途中観光地というものはこういう所かと、いかにも見せつけられる様に、旅行団体で混雑しそれを相手とする土産品店や旅館が立ちならんでいる一筋道の街であった。夕食後十時まで外出が許され大部分皆外出しみやげを買う者などがあって、やがて宿に帰り、絵はがきを家や友人に書く者も床の中で馬鹿話に花を咲かせているうちに旅行最初の旅館での眠に入ったのである。

翌朝は六時半起床。起きてみると空はすがすがしく晴れわたり宿の中からさえ広大無辺の海が望まれ



巨大な客船チューザン号

何とも言えないよい景色だった。七時に食事が始まり、食後一時間ばかりの休憩の間にとびつく。どんぶり一杯飯の飯は、我等食い盛りの若人には、不足のせいか『めし、めし』という者も数人あったがそうこうしているうちに朝食も済んだ宿と別れを告げたのが八時過ぎ。そして二見から電車で伊勢神宮を参詣した。私達はこの地と数々の思いでと共に別れを告げ、一路奈良に向った。

奈良の大仏に驚嘆

佐々木康雄

奈良に着いたのが十九日の午後三時頃。バスに乗り込んで、ユーモラスな案内人の説明を聞きながら、春日山を起点とし、ナギ林を通り時折鹿を見ながら春日神社、校倉式の正倉院、二月堂、三月堂、東大寺大仏、大仏殿（金堂）、若草山（三笠山）、鵬福寺の五重の塔と、それを映す猿沢の池などを見学した。中でも大仏は、面長五来金剛寺、嵐山、清水寺など見学した。大仏殿拝遭の評定が行われた南大門には、鎌倉時代の代表作である運慶と快慶によって造られた高さ八米の仁王さまがあって、本当に感銘を受けた。奈良を後にして京都の旅館に着いたのが七時半頃。幾分遅い夕食をとり、その夜は十時宿田行動。皆、それぞれ思い思いの場所に出かける。

翌二十日は晴。六時半起床。八時に旅館前をバスで出発し、京都市内、琵琶湖方面見学に向かった。バスガイドの『左に見えますのが○○でございます。右を御覧下さい。……』の説明に、音左右に動かしながら、バスの窓から京都の町を見る。東本願寺、西本願寺と見て、三十三間堂に着く。この中には、千一体の観音様を見ると、それを映す猿沢の池などを見その後、八坂神社、平安神宮、京都御所、二条城、苔寺（西芳寺）市指の長さ・五米と聞いて一同驚く。世界最大の木造建築の金堂の南大門には、鎌倉時代の代表作である運慶と快慶によって造られた高さ八米の仁王さまがあって、本当に感銘を受けた。奈良を後にして京都の旅館に着いたのが七時半頃。幾分遅い夕食をとり、その夜は十時宿田行動。皆、それぞれ思い思いの場所に出かける。

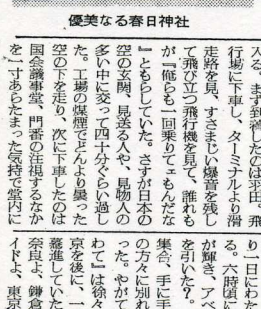
翌二十日は晴。六時半起床。八時に旅館前をバスで出発し、京都

優美なる春日神社

国際色豊かな神戸港

小原実比等

第四日目、京都市内、ビワ湖などを見学した。何といっても、朝から晩までバスに揺られていたので、体なぜはもう自分のものではないような気がする。それでも昔の面影深く、静かな京都を後に国電で明石に向った。六時半着、今にも雨が降り出そうである。クラスごとに別々の旅館に泊ることになった。クラス会開いての夕食、豪華なこと、おどりのあることには皆驚いてしまった。外は暴り雨風が強い、誰れも外出しようとしない、カクシ芸も飛び出した。女中さんは最初で気持がよい、中でも一人、大分好感を持たれた。その晩は大騒ぎわしに



朝から晩までバスに揺られていたので、体なぜはもう自分のものではないような気がする。それでも昔の面影深く、静かな京都を後に国電で明石に向った。六時半着、今にも雨が降り出そうである。クラスごとに別々の旅館に泊ることになった。クラス会開いての夕食、豪華なこと、おどりのあることには皆驚いてしまった。外は暴り雨風が強い、誰れも外出しようとしない、カクシ芸も飛び出した。女中さんは最初で気持がよい、中でも一人、大分好感を持たれた。その晩は大騒ぎわしかった。

ネオン咲く東京

吉田正範

第六日目、二十二日は、鎌倉を後に、ガイドの美声に聞きほれながら観光バスで、横浜、そして京浜国道を突走り我々のあこがれ東京に入る。まず到着したのは羽田。飛行場に下車、ターミナルより滑走路を見、すさまじい爆音を残して飛び立つ飛行機を見て、誰れもが『俺らも一回乗りてぇもんだな』ともらしていた。さすが日本の空の玄関、見送る人や、見物人の多い中に交って四十分くらい過した。工場の煤煙でどんより曇った空の下を走り、次に下車したのは国会議事堂、門番の法規するなかを『ずいぶんまった気持で堂内に入り、傍聴席に座って係員の説明を聞いた。堂内の壮大さに驚かされ、下を見下すと、各代議士席に氏名が刻んであった。すぐ会議が開かれるというので、あわただしくその場をさって山本猛夫氏の後援会中央連絡所で落着いて昼食を取った。次に二重橋を訪れ橋をバックに記念撮影し、次に三田商会を訪問した。理事長は我々を大歓迎して下さって、屋上でバナナとケーキとコーヒーを口にしながら理事長のお話に傾聴した。二時半頃辞して都内を回って見学しながら高校生の夢の的東大のすぐ近くの更新館なる旅館についたの四時頃『ダイガク』『ギンザ』『アサクサ』などと染った部屋の名に一同爆笑しながらそれぞれの部屋に落着く。『手高校の○○さん玄関まで…』と連絡の呼び出し、先輩、あるいは親戚兄姉が面会に来ているの。今度も女性のようだと気をもむ若者がいる。来ない者にとっては何んとも羨ましい限りであった。約四時間の自由行動があったので、一同夜のネオンの輝く東京に同胞アベックで出かけたが、近辺をうろうろするのが精一杯、旅館でテレビを珍しがったり、風呂に入ったりする者が多いようだった。

第七日目二十三日は、六時半起床、朝食がすむと、みんな緊張きに熱中していた。八時頃バスが旅館前に到着、全員荷物を旅館にあずけてバスに乗る。間もなく上野駅に到着、午後八時半当地集合と約束して自由行動となり、先輩、親戚兄姉、あるいは生徒同志グループを組んで思い思いの所へと散る。

天候は曇りであったが暖く、汗を流して見物する有様だった。この日は皆羽をのばした日曜、シネマ、有名アパート、後楽園、上野日比谷公園などを自分の好みにより一日にわたって行動したのである。六時頃になると巨大なネオンが輝き、アベックの群が我々の眼を引いた。八時半全員上野駅に集合、手に手に土産を下げ、先輩の方々に別れをおしんで出発となって出発した。やがて十時五分発急行『いわて』は徐々に動き出し、夜の東京を後に、一路盛岡へと闇の中を驀進していた。さらば！京都よ、奈良よ、鎌倉よ、羽田よ、バスガイドよ、東京よ、修学旅行よ！

編集後記

夜が短かくなり夏らしくなったイソモ部員が少なくて発行が長びいていたが、春と共に新入生を迎え今年は新聞創刊以来の記者が八名加入を見、記事が計画的にかど…ったようだ。

毎年記事は同じようであるが、自然的二度であるので悪しからずないよう。

本号は編集二年生が主体となって編集に当ったが、新学期早々として例年のように、三面、四面をそれぞれ市民育大会、修学旅行の特集にした。

われわれ部員一同は、この伝統ある『石桜新聞』を継持するために一層の努力を心がけ第四十六号発行にいたったわけである。

『僕らの新聞』に対して投書の少ないことは非常に残念である。どしどし御投書下さい。大歓迎致します。勉強、スポーツに最適なシーズン諸君ガンバレ!!

最後に本号発行にあたり色々と御協力下さいました方々に深く感謝致します。

造つて売る店
盛田カバン店
当店お買上げのカバンは
無料修理致します
盛岡市大通り　T四三八

全音の楽譜と楽器
レコードと電蓄プレヤー
盛岡　スズシン　大通
TEL 5544

伝統と信用を誇る
大橋時計店
盛岡市材木町
TEL 2793

現像・焼付・引伸
写真材料・付属品
◎良心的営業をモットーとする店
三光社カメラ
盛岡市仁王小路（二戸町突当り）
◎岩中高生さんには特別サービス